

Adobe® Illustrator® プラグイン
PlugX®-Clipper 2.5
ユーザーズガイド

株式会社 地理情報開発

Copyright ©2014 CHIRI Geographic Information Service Co., Ltd.

Revision 1.0.0

はじめに

PlugX シリーズをご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品は Adobe Illustrator に対して、ドキュメントの切り抜き機能を追加するプラグインです。お客様のデザインワークに広くお役立ていただければ幸いです。

動作環境

Windows 版：

Adobe Illustrator 日本語版 バージョン CS6 ～ CC(17.1) のいずれかが、Microsoft Windows 上で正常に動作していること。

Macintosh 版：

Adobe Illustrator 日本語版 バージョン CS6 ～ CC(17.1) のいずれかが、Intel CPU を使用した Macintosh コンピュータの Mac OS X 上で正常に動作していること。

- * パッケージ版をお求めの場合、インストールには CD-ROM ドライブが必要です。
- * 本製品は、1 ライセンスにつき 1 台のコンピュータでお使いいただけます。
- * 仕様は予告なく変更する場合があります。

インストール

使用環境に合ったプラグインと付属ファイルを収めたフォルダを、Illustrator のプラグインフォルダ内にコピーします。その後 Illustrator を起動し、シリアル番号を入力します。初回起動より 60 日以内にライセンスキーの取得・入力を行います。詳しい手順は『スタートアップガイド』及び『ライセンス認証について』をご参照ください。

サポートについて

本製品のご使用上のお問合せや技術的なご質問については、下記のサポート専用アドレスにて電子メールで承っております。Illustrator 自体の機能に関するご質問についてはサポート範囲外となりますので、アドビ社が提供するサポートや、市販書籍・関連 Web サイト等をご利用ください。

- * PlugX サポート専用メールアドレス： support-plugx@chiri.com
- * 機能改善のためのアップデート公開などの情報は、当社 Web サイトをご参照ください。
- * 地理情報開発 Web サイト <http://www.chiri.com/>

※ PlugX は株式会社地理情報開発の登録商標です。

※ Adobe, Illustrator はアドビシステムズ社の商標です。

機能の概要

本プラグインは、Photoshop などペイント系グラフィックソフトのように、Illustrator でもアートワークの必要な部分だけを簡単に切り出せるように、というコンセプトで開発したものです。Illustrator 自体には類似の機能として「パスファインダ」がありますが、本プラグインではパスファインダでは出来ないさまざまな機能を実現しています。アートワークのデータ量削減などに絶大な効果を発揮します。

パスファインダとの違い

塗りのないパスも切り抜き可能

- * 塗りのない線表現だけのパスも、塗りのあるパスと同時に必要範囲を切り抜くことができます。いちいちはさみツールなどを使って膨大な手間を掛けて切り抜く必要はもうありません。

レイヤー構成を保って切り抜ける

- * パスファインダの切り抜き機能を使うと、対象オブジェクトがすべてグループ化されてしまいます。本プラグインで切り抜けば、元のレイヤー構成が残りますので、せっかくレイヤーを使って整理したアートワークが編集困難になったりすることはありません。

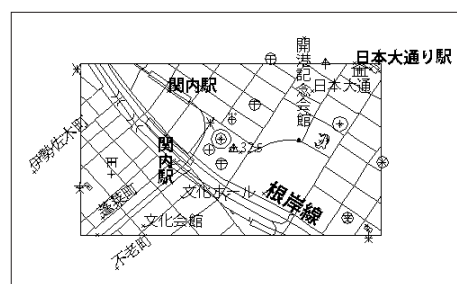
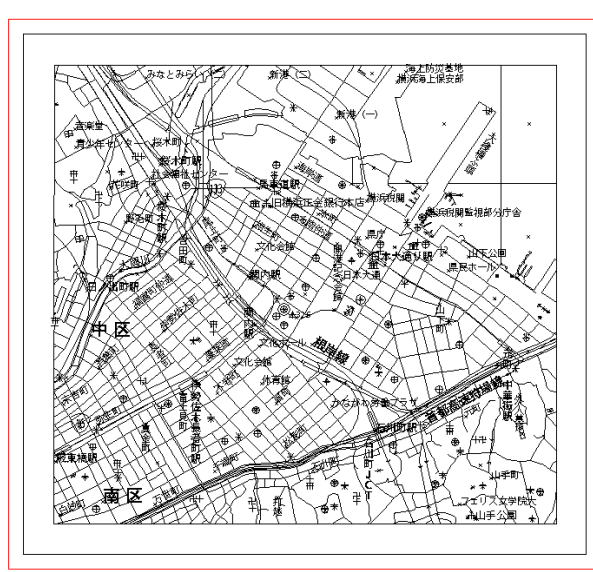
埋め込み画像も同時に切り抜き可能

- * ドキュメント内に埋め込みで配置されたピクセル画像も、他のパスと同時に切り抜くことができます。

<地図のアートワーク切り抜きの例>

(プレビュー表示)

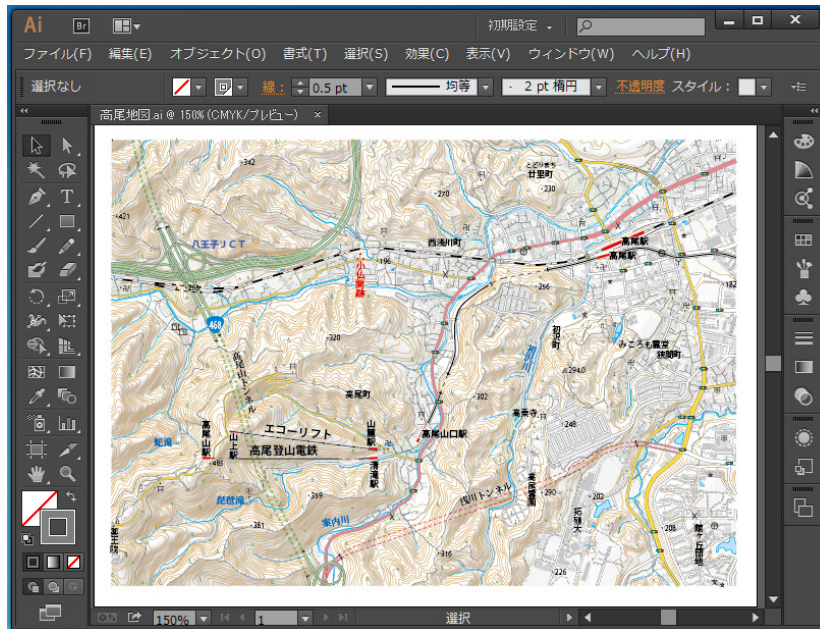
(アウトライン表示)



操作方法

ドキュメントを開く

まず、切り抜きを行いたいドキュメントを Illustrator で開きます。

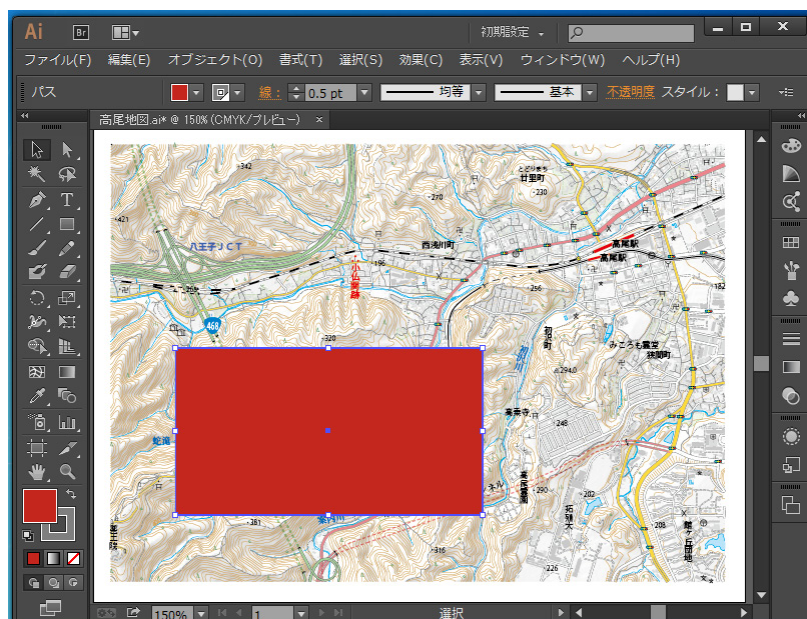


切り抜き範囲を指定するパスを作る

Illustrator のペンツール、長方形ツールなどのパスを作成するツールを使って、切り抜きたい範囲を囲むパスを作成します。作成するパスは次の条件を満たす必要があります。

1. 閉じた形状のパスであること
2. 単独のパスであること（複合パス等は不可）

切り抜き範囲指定パスのペイント属性（色付け、線幅など）は、切り抜きに影響を与えないので任意でかまいません。塗りのあるパス・無いパスのどちらでも大丈夫です。また、どのレイヤーに作成してもかまいません。切り抜きを実行するとこのパスは消滅します。

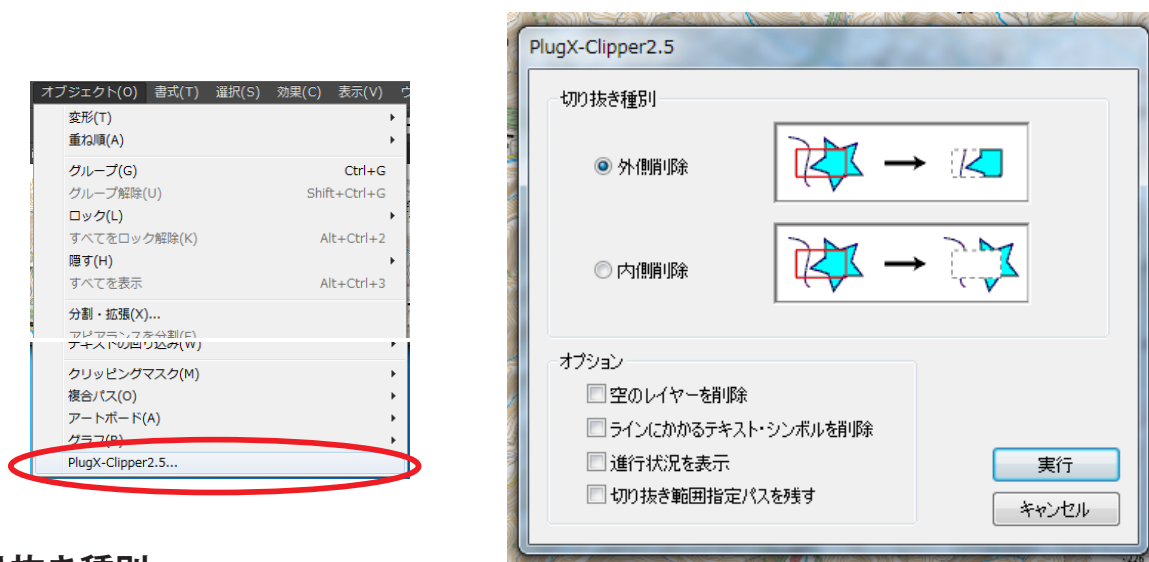


切り抜き範囲指定パスを選択する

作成した切り抜き範囲指定パスだけが選択された状態にします。他のオブジェクトはすべて選択が解除されていなければなりません。

プラグインを起動して実行する

Illustrator のメニューで [オブジェクト] - [PlugX-Clipper2.5...] をクリックします。本プラグインのダイアログボックスが表示されますので、ここで必要な設定を行います。



切り抜き種別

切り抜き範囲指定パスの外側を削除するのか、内側を削除するのか、どちらかを選択します。

「空のレイヤーを削除」オプション

これをチェックすると、もともと中身のなかった空のレイヤーと、切り抜いた結果オブジェクトが無くなり空になったレイヤーの両方が削除されます。

「ラインにかかるテキスト・シンボルを削除」オプション

テキストオブジェクト・シンボルオブジェクトについて、切り抜き指定範囲に部分的にかかるものを残すか消去するかを決めるオプション項目です。チェックした場合は消去されます。

＊ テキストやシンボルは、オブジェクト単位で残すか消去するかが決まります。例えばテキストの文字列が部分的に消去されたりすることはありません。形状として完全に切り抜きたい場合には、テキストの場合はアウトライン化、シンボルの場合には分割・拡張（またはシンボルとのリンクを解除）して、あらかじめパスに変換してから切り抜きを行います。

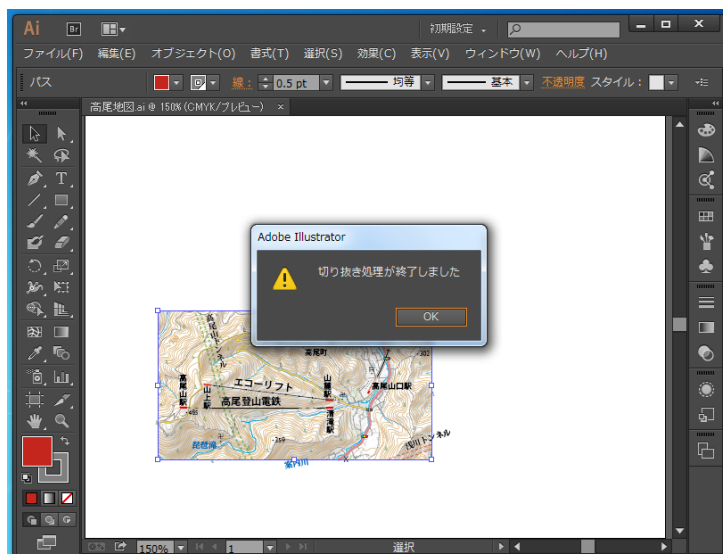
「進行状況を表示」オプション

切り抜きの進行状況を見るために、1 レイヤーの切り抜きが終わるたびにドキュメントを再描画するオプションです。チェックしないと切り抜きが終了するまで画面表示は変わりませんが、実行速度は速くなります。

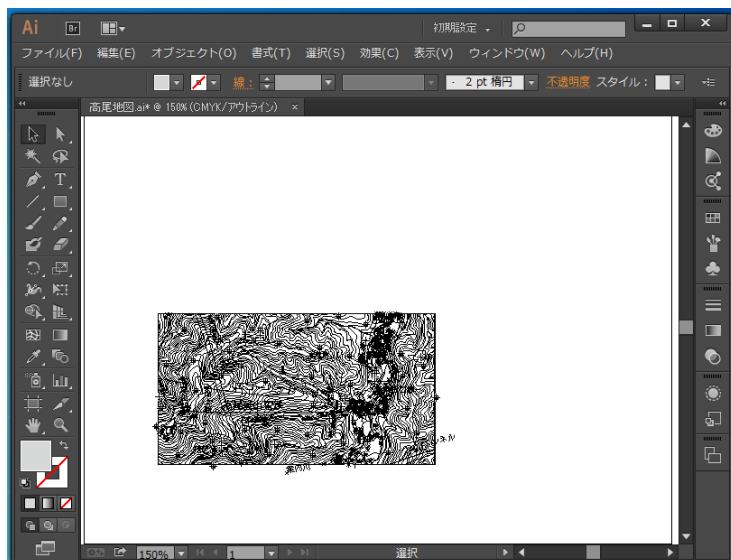
「切り抜き範囲指定パスを残す」オプション

切り抜き範囲を指定するために作成したパスは、このオプションをチェックした場合は切り抜き実行後も残ります。チェックしないと自動的に削除されます。

お好みの設定ができれば「実行」ボタンをクリックして切り抜きを実行します。切り抜きが終了すると、メッセージが表示されます。



アウトライン表示に切り替えてみると、切り抜き指定範囲外（この場合は外側）のオブジェクトが確かに切り取られていることがわかります。



ロック・非表示との関係

切り抜き時にロックまたは非表示となっているオブジェクトは切り抜き対象外となります。例えばレイヤーがロックされているとそのレイヤー内のオブジェクトはすべて切り抜き対象外になり、元のまま残ります。切り抜き対象を制御したい場合にご利用ください。

画像の切り抜きについて

埋め込み画像は、「外側削除」で切り抜いた場合、切り抜いて残る部分を表現するために必要な最小部分だけのピクセルを残して切り抜かれ、切り抜き形状によってはさらにクリッピングマスクが作成されます。「内側削除」の場合は切り抜いても変化がありません。

リンク画像は、「外側削除」で切り抜いた場合、ピクセルには変化がなく、必要な場合クリッピングマスクが作成されます。「内側削除」の場合は埋め込み画像と同様に切り抜いても変化がありません。

切り抜き時の注意事項

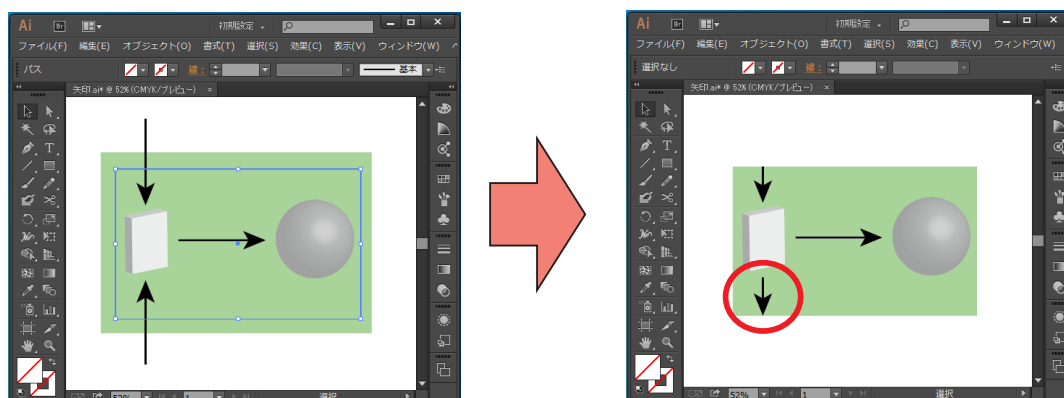
本プラグインでは、どのようなドキュメントも完全に切り抜きが行われるものではありません（Illustrator の原理的に切り抜き困難な場合もあります）。次のようなオブジェクトについては切り抜かれない、あるいは見映えに変化を生じる場合があるのでご注意ください。

1. ブラシや矢印・線のプロファイルなどの効果が適用されたパスは、切り抜いた結果起点と終点の位置が変わるため、見映えに変化を生じる場合があります。特にパスの方向については切り抜き前と切り抜き後で反対になる場合がありますので、矢印など方向性のある効果についてはご注意ください（下図参照）。
2. グラデーションメッシュやエンベロープ、グラフ、シンボルセット、遠近グリッドなどの特殊なオブジェクトは切り抜き対象外となります。
3. ブレンドについては、元となるパスの形状が切り抜きで変わることにより、見映えに変化を生じる場合があります。見映えを維持するにはあらかじめ分割・拡張します。
4. その他、アピアランスが非常に複雑な場合やアートワークの構造が非常に複雑な場合（多重のクリッピングマスクなど）など、見映えが変化したりうまく切り抜きが行われない場合があります。
5. 実行速度は、切り抜き指定形状が正立した長方形の場合に最も高速になります。

<切り抜き前後のパス方向に注意>

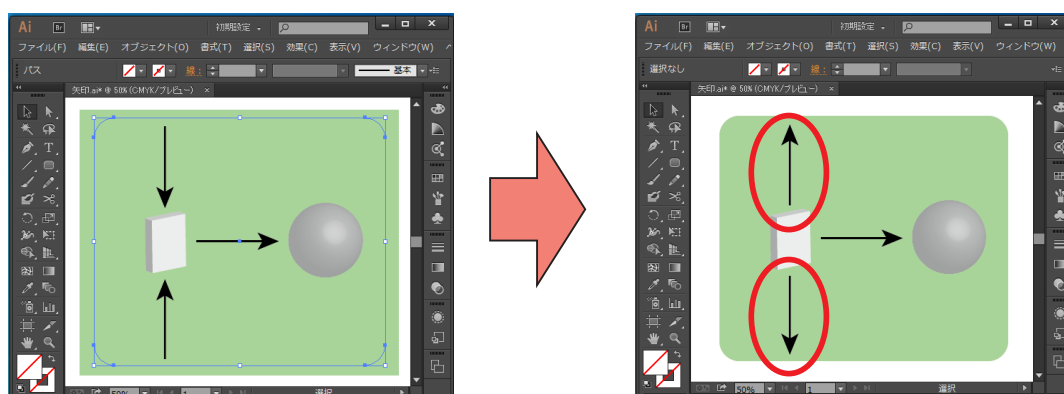
正立した長方形で切り抜く場合

- 残す範囲に完全に含まれるパスの方向は変わりませんが、切り抜きで形状が変わるパスの方向は逆転する可能性があります。「線」の設定で矢印をつけている場合、矢印の向きも逆転します。



正立した長方形以外の形状で切り抜く場合

- 残す範囲に完全に含まれるパスであっても、方向が逆転する可能性があります。下図は、角丸長方形で切り抜きを実行した例です。切り抜きで形状が変わらないパスでも、方向が逆転している場合があります。



*本マニュアルに掲載した地図アートワークは、国土地理院の「数値地図（国土基本情報）」を使用して作成したものです。